

洪水・土砂災害時の 避難確保計画 (案)

【鳥取大学医学部附属病院】

平成29年11月15日 作成

目 次

1 . 計画の目的	3
2 . 計画の報告	3
3 . 計画の適用範囲	3
施設周辺の避難地図	4
4 . 防災体制	6
5 . 情報収集・伝達	7
6 . 避難誘導	8
7 . 避難の確保を図るための施設の整備	9
8 . 防災教育及び訓練の実施	17
9 . 自衛水防組織の業務に関する事項	17

個人情報等を含むため適切に管理

10 . 災防災教育及び訓練の年間計画作成例	20
11 . 施設利用者緊急連絡先一覧表	20
12 . 緊急連絡網	21
13 . 外部機関等への緊急連絡先一覧表	22
14 . 防災体制一覧表	23

* 1 ~ 9 は米子市に提出，10 ~ 14 は提出不要だが，個人情報が含まれており取り扱い注意

1.計画の目的

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、本施設の利用者の洪水時または土砂災害発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2.計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を病院長へ報告する。

3.計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

人数

職員：約1305名

利用者：入院1日平均患者数621人

外来1日平均患者数(243日)1498人

【施設周辺の地図】

- 赤色：土砂災害特別警戒区域
- 黄色：土砂災害警戒区域



図1 土砂災害時の避難場所(とっとり Web マップより引用一部改変)

上の図から分かるように、鳥取大学附属病院は土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域に重なる施設がある。



図2 洪水ハザードマップ(米子市 HP 引用)

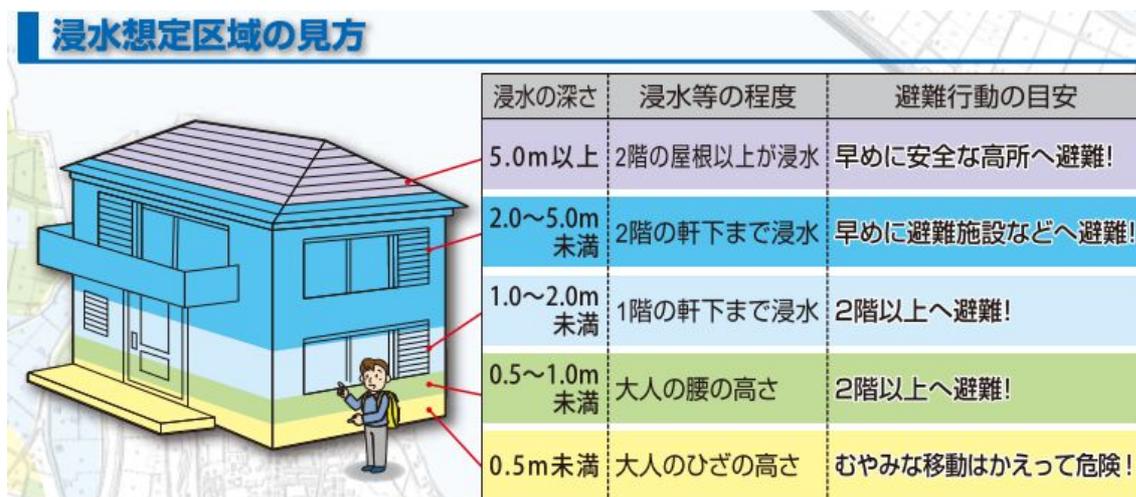


図3 米子市 HP より引用

洪水ハザードマップより、鳥取大学附属病院周辺は浸水の深さの予想は 0.5 m未満及び 0.5~1.0m未満である。従って、1 階の精神科病棟の患者は 2 階以上に避難することとする。詳しくは、後述(p. 参照)。

4 . 防災体制

連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	体制	活動内容・対応職員
<p>【気象庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険度注意レベル ・台風・大雨予報 ・大雨・洪水注意報発令 = 25mm/ 1 時間かつ 70mm/総雨量 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水避難準備情報発令 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺河川や内水の基準水位の上昇が予想される場合 		<ul style="list-style-type: none"> ・暫定災害対策本部設置 (総務課内) ・情報収集 ・物資や資機材の確認 ・危険箇所の点検 ・危険要因の除去 ・災害前兆現象の察知 ・ライフラインや重要設備の確認 <p style="text-align: center;">注 意 体 制</p>
<p>【気象庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険度レベル 1 ・大雨・洪水注意報発令 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水避難勧告発令 (破堤につながる漏水発見後) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺河川や内水の氾濫注意水位を越え、なお水位上昇の恐れがある場合 		<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部設置 (2 階会議室) ・指定職員招集 (その他の職員も連絡が確実にとれるようにする) <p style="text-align: center;">警 戒 体 制 レ ベ ル 1</p>

<p>【気象庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険度レベル2 ・雨量観測値が 50mm/ 1 時間 または連続雨量 200mm 以上 <p>【米子市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難準備情報（土砂）の発令 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部長が必要と認めた場合 	<p>警 戒 体 制 レ ベル 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員招集 ・班設置 ・避難の目安
---	---	--

<p>【気象庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険度レベル3 ・土砂災害警戒情報発令 ・雨量観測値 90mm/ 1 時間以上 <p>【市町村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難指示発令 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部長が必要と認めた場合 	<p>避 難 体 制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部と各病院・施設の対策本部が協議を重ねて避難を決定 ・屋内避難 ・危険箇所や被災場所を避けながら避難経路を判断
---	----------------------------	---

5 . 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

情報	収集方法
気象情報	気象庁 HP、テレビ、ラジオ、 携帯電話（アプリ）
気象注意報・警報 特別警報	気象庁 HP、あんしんトリピーメール、 テレビ、ラジオ、携帯電話（アプリ）
地点雨量（アメダス）	気象庁 HP、防災情報提供センター、 国土交通省 HP（川の防災情報） 携帯電話（アプリ）

洪水予報・水位到達情報	気象庁 HP、鳥取県防災情報 HP、 国土交通省 HP（川の防災情報） あんしんトリピーメール、テレビ、ラジオ
土砂災害に関する情報	気象庁 HP、鳥取県防災情報 HP、 テレビ、ラジオ、携帯電話（アプリ）
避難準備・高齢者等 避難開始	防災無線、米子市 HP、テレビ、ラジオ 携帯電話（アプリ）

（ URL ）

気象庁 HP：<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

防災情報提供センター：<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

川の防災情報：<http://www.river.go.jp/nrpc0302gDisp.do?areaCode=87>

鳥取県防災情報：<http://tottori.bosai.info/>

米子市災害、防災情報：<http://www.city.yonago.lg.jp/kinkyu/>

Yahoo!天気アプリで米子市を地点登録すると、米子市のアメダスの観測値が確認できる。

（ 2 ） 情報伝達

「院内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を院内関係者間で共有する。

徒歩や公共交通機関等を用いての広域避難が困難な者がいる場合には、避難困難者の状態や人数について市町村長に報告する。

6 . 避難誘導

避難誘導については、次のとおり行う。

（ 1 ） 避難場所

避難場所は下表のとおりとする。また、悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険もともなうことから、施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊のおそれがない場合、屋内安全確保を図るものとする。その場合は備蓄物資を用意する。

（ 2 ） 避難経路

避難場所までの避難経路については、「避難経路図」のとおりとする。

(3) 避難誘導

避難場所までの移動距離及び移動手段は、以下のとおりとする。

優先順位	名称	移動距離	移動手段
1	鳥取大学医学部 附属病院内		
2	鳥取大学医学部構内 (体育館、保健学科棟等)	約0.4km	徒歩
3	高島病院	0.6km	徒歩 または 鳥大所有の車両
	博愛病院	4.0km	
	米子医療センター	4.4km	
	山陰労災病院	5.1km	
	鳥取県済生会境港総合病院	17.8km	

鳥大所有の車両：救急車 7人乗り×1台
ドクターカー 7人乗り×1台
公用車 4人乗り×2台
5人乗り×2台
7人乗り×2台

7. 避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材や非常食については、下表に示す通りである。

これらの資器材や非常食については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

保管場所は、看護師宿舎および防災倉庫である。

品名	規格	数量	備考
救急医療具用 BOX		2 個	
キャンバスベッド		19 台	
ヘルメット		不明	11 箱、9 個×1 袋、バラ 21 個
ヘルメットハンガー		4 台	
軍手	12 双	13 袋	
ビニールシート		不明	
二つ折り担架		18 台	
毛布		19 箱	
スコップ		9 本	
すのこ		8 個	
NBC 緊急避難用マスク	10 個入	10 箱	
照明		2 台	
陰圧式固定具		6 袋	
テント		1 張	
トリアージタグ		1 箱	使用済み
防護服	M、L	1 箱	M2 着、L9 着
TST 防護服ユニット	S-M	2 箱	
アンダーウェア	ナース用上衣 L	3 箱	
アンダーウェア	ナース用上衣 M	5 箱	
アンダーウェア	ナース用下衣 L	3 箱	
アンダーウェア	ナース用下衣 M	5 箱	
アンダーウェア	ドクター用上衣 M	3 箱	
アンダーウェア	ドクター用上衣 X	1 箱	
アンダーウェア	ドクター用下衣 M	2 箱	
F コートセレクト	M	5 箱	
寝袋		8 個	

ロープ		6 束	
折りたたみ椅子		20 脚	
机		4 台	
手持スピーカー		3 台	
延長ケーブル		3 台	
ポリタンク		2 箱	箱に 4L 入とある
懐中電灯		22 個	
バケツ		5 個	
ダンボール		不明	
感染用ダンボール		不明	
感染用ペール缶		10 個	フタ 10 個
衛星電話用アンテナ		1 台	
発電機		3 台	
コ口付収納 BOX		11 個	各々物が入ってる
DYNA CRP BOARD		2 個	
長靴		1 足	
モーターオイル	4L	1 缶	
看板	大、小	2 個	大:総括災害対策本部、小:文字無し
医療用酸素		2 本	
医療用調整器	KM-103 酸素	1 個	
トリアージの旗		4 本	全色
腕章		45 個	
カイロ	10 個入	10 袋	有効期限 97 年 6 月
タオルケット?		不明	1 箱、1 袋
ビニールケース	シルバー	3 個	No.A-9
単 1 電池	2 個入	76 個	10 パック × 3 箱、7 パック、バラ 2 個(サビ)
単 2 電池		33 個	バラ
単 3 電池	4 個入	32 個	8 パック
WIDE ボックス		4 個	
化粧品		不明	ファンデーション他
スティックのり		4 本	
セロテープ		1 個	
PP ヒモ		1 巻	

画鋏		1 箱	使用済み
ホチキス		1 個	
黒ボールペン	10 本入	58 本	5 箱、バラ 8 本
赤ボールペン	10 本入	50 本	4 箱、バラ 10 本
黒マーカー	黒、赤	7 本	黒 5 本、赤 2 本
ホワイトボードマーカー		1 本	
イレイザー		1 個	
プラスチックエプロン他		不明	コ口付収納 BOX にある
バインダー		36 個	災害用赤色 33 個、他 3 個

	品名	規格	計画数量	整備数量	保管場所	整備数量	保管場所	整備済数量	備考
	トイレット ペーパー	100 ロール	1 箱	1	備蓄 保管 庫 3			1	500 人× 0.04 ロール×3 日
	生理用品	30 ケ×2 ×15 箱	900 ケ	0		89 6	備蓄 保管 庫 1	896	300 人×4 個×3 日× 0.25
	簡易トイレ	処理セット	450 0 個	0		45 00	備蓄 保管 庫 1	4500	500 人×3 回×3 日
	災害用毛布	1400× 1950mm	500	30 0	備蓄 保管 庫 3	12 0	備蓄 保管 庫 1	420	500 人 ×1 枚
	メヂラッ プブランケ ット 大人 用	1200× 2000mm		50	備蓄 保管 庫 1	30	備蓄 保管 庫 1	80	

		1420 × 2130mm							
	自家発電式 懐中電灯	ラジオ付	50 個	0		50	備蓄 保管 庫 1	50	500 人 × 0.1 個/人
	防水シート	ブルーシ ート 3600 × 5400mm	250 枚	25 0	備 蓄 保 管 庫 3			250	500 人 × 0.5 枚/人
	トラロープ	12#(9m m) × 100m	25 巻	0		25	備蓄 保管 庫 1	25	500 人 × 0.05 巻/人
	石油ストー ブ		17 台	0				0	入試用(学 務課保管) を代用
	灯油		750 L	0				0	250L × 3 日
	カセットボ ンベ発電機	ホンダ	5 台	0		5	備蓄 保管 庫 1	5	カセット ボンベ 36 本

非常食

	商品名	取り扱い先	賞味 期間	賞味期限		必要 個数
1	尾崎食品保存 パン プレー ン	サンレイ	3年	2020.3	30袋/箱	19箱
	野菜一日これ 一本 長期保 存	サンレイ	5年6か 月	2021.3.3	30本/箱	19箱
	朝からフルー ツミックス	サンレイ	3年	2020.2.3	24缶/箱	23箱
	尾西食品ミネ ラルウォータ ー	サンレイ	5年	2020.2.9	24本/箱	23箱
2	お粥	サンレイ	3年6ヶ 月	2020.8.24	24缶/箱	23箱
	まぐろ味味噌	サンレイ	3年	2019.10.4	24缶/箱	23箱
	ウインナーと 野菜のスープ 煮	サンレイ	3年6ヶ 月	2020.8.6	24缶/箱	23箱
	尾西食品ミネ ラルウォータ ー	サンレイ	5年	2020.2.9	24本/箱	23箱
3	お粥	サンレイ	3年6ヶ 月	2020.8.24	24缶/箱	23箱
	サバイバルフ ーズ野菜シチ ュー	セイエンタ プライズ	常温保 存(24 以下)	2033.11.1	10食/缶	55缶
	さんま塩焼き 65g	サンレイ	3年	2020.1.1	30缶/箱	24箱
	尾西食品ミネ ラルウォータ ー	サンレイ	5年	2020.2.9	24本/箱	23箱

4	尾西食品保存 パン プレー ン	サンレイ	3年	2020.3	30袋/箱	19箱
	サバイバルフ ーズ野菜シチ ュー	セイエンタ プライズ	常温保 存	2033.12.1	10食/缶	55缶
	朝からフルー ツみかん	サンレイ	3年	2020.2.8	24缶/箱	23箱
	尾西食品ミネ ラルウォータ ー	サンレイ	5年	2020.2.9	24本/箱	23箱
5	アルファ米 炊き出しセッ ト	サンレイ	5年	4月発注	50人分/ 箱	11箱
	牛肉大和煮 (70g)	サンレイ	3年6ヶ 月	2019.5.13	24缶/箱	23箱
	朝からフルー ツ黄桃(110g)	サンレイ	3年6ヶ 月	2018.9.2	24缶/箱	23箱
6	アルファ米炊 き出しセット 白飯	サンレイ	5年	発注済・4 月納品予 定	50人分/ 箱	11箱
	さんまの塩焼 き	サンレイ	3年	30缶/箱	30缶/箱	24箱
	野菜一日これ 一本	サンレイ	5年6ヶ 月	30缶/箱	30缶/箱	24箱
	立山の天然水	サンレイ	5年	24本/箱	24本/箱	24箱
7	アルファ米 炊き 出しセット白飯	サンレイ	5年	4月発注	50人分/ 箱	11箱
	豚汁	サンレイ	5年	2022.8.5	50個/箱	11箱
	立山の天然水	サンレイ	5年	2017.12.30	24本/箱	23箱
8	アルファ米 炊き	サンレイ	5年	4月発注	50人分/	11箱

	出しセット白飯				箱	
	野菜1日これ1本 長期保存	サンレイ	5年6カ 月	2022.9.20	30 缶/箱	24 箱
	鶏肉のうま煮	サンレイ	3年6カ 月	2019.5.19	24 缶/箱	23 箱
	立山の天然水	サンレイ	5年	2017.12.30	24 本/箱	23 箱
9	レスキューフーズ シチュー&ライス	サンレイ	3年6カ 月	2019.2.11	12 食/箱	46 箱
	白いごはん					
	ビーフシチュー					
	立山の天然水	サンレイ	5年	2017.12.30	24 本/箱	23 箱

調 理 用	立山の天然水	サンレイ	5年	2018.1.19	2 L	30 箱
予 備 食	ビスコ保存缶	サンレイ	5年	発注済・6 月納品予 定	30 枚/缶	40 箱
調 乳 食	ミルク はぐ くみ 大缶 810g	森永		4月発注		10 缶
	水	サンレイ	5年	2020.1.29	6 本/箱	1 箱
	水	サンレイ	5年	2020.3.13	6 本/箱	2 箱
	安心米 わかめご飯		5年	2019.7	50 食/箱	1 箱
	安心米 きのことご飯		5年	2019.8	50 食/箱	1 箱
	安心米 ひじきご飯		5年	2019.7	50 食/箱	1 箱

8 . 防災教育及び訓練の実施

- 毎年 4 月に新規採用の職員を対象に研修を実施する。
- 施設環境課が中心となり、事務部各課及び看護部等の協力の下、水防法・土砂災害防止法(2017 年改正)で定められた年 1 回の水害に対する避難行動訓練を実施する義務がある。
- 必要に応じ、上記訓練とあわせ、医療サービス課が中心となり、事務部各課及び看護部等の協力の下、多数傷病者受入訓練を実施し、また、総務課が中心となり、災害対策本部と(鳥取県等)院外他機関や院内現地指揮所との情報伝達訓練を実施する。
- 日程に関しては、「10 . 防災教育及び訓練の年間計画作成」に示す。
- なお、訓練の詳細については、附属病院防災対策委員会において審議する。また、訓練の結果を踏まえ、定期的に災害対策マニュアルの改訂を行う。

9 . 自衛水防組織の業務に関する事項

- (1) .「自衛水防組織活動要綱案」に基づき自衛水防組織を設置する。
- (2) .自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
 - 毎年 4 月に新たに自衛水防組織の構成員となった職員を対象として研修を実施する。
 - 毎年 5 月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- (3) .自衛水防組織の報告
 - 自衛水防組織を組織または変更した時は、水防法第 15 条の 3 第 2 項に基づき、遅滞なく、当該計画を米子市長へ報告する。

自衛水防組織活動要綱(案)

(自衛水防組織の編成)

管理権限者：病院長 統括管理者：防災センター長

第 1 条 管理権限者は、洪水時等において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

2 自衛水防組織には、統括管理者(防災センター長)を置く。

- (1) 統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

(2) 統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

3 管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

4 自衛水防組織に、班を置く。

(1) 班は、本部及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

(2) 各班の任務は、

(3) 防災センター(最低限、通信設備を有するものとする)を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中心として配置する

(自衛水防組織の運用)

第4条 管理権限者は、職員の勤務体制も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知を行う。

2 休日・夜間に勤務する職員のみでは十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権限者は、近隣在住の職員の招集も考慮して組織編成を行う。

3 管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や職員等の非常参集計画を定めるものとする。

(自衛水防組織の装備)

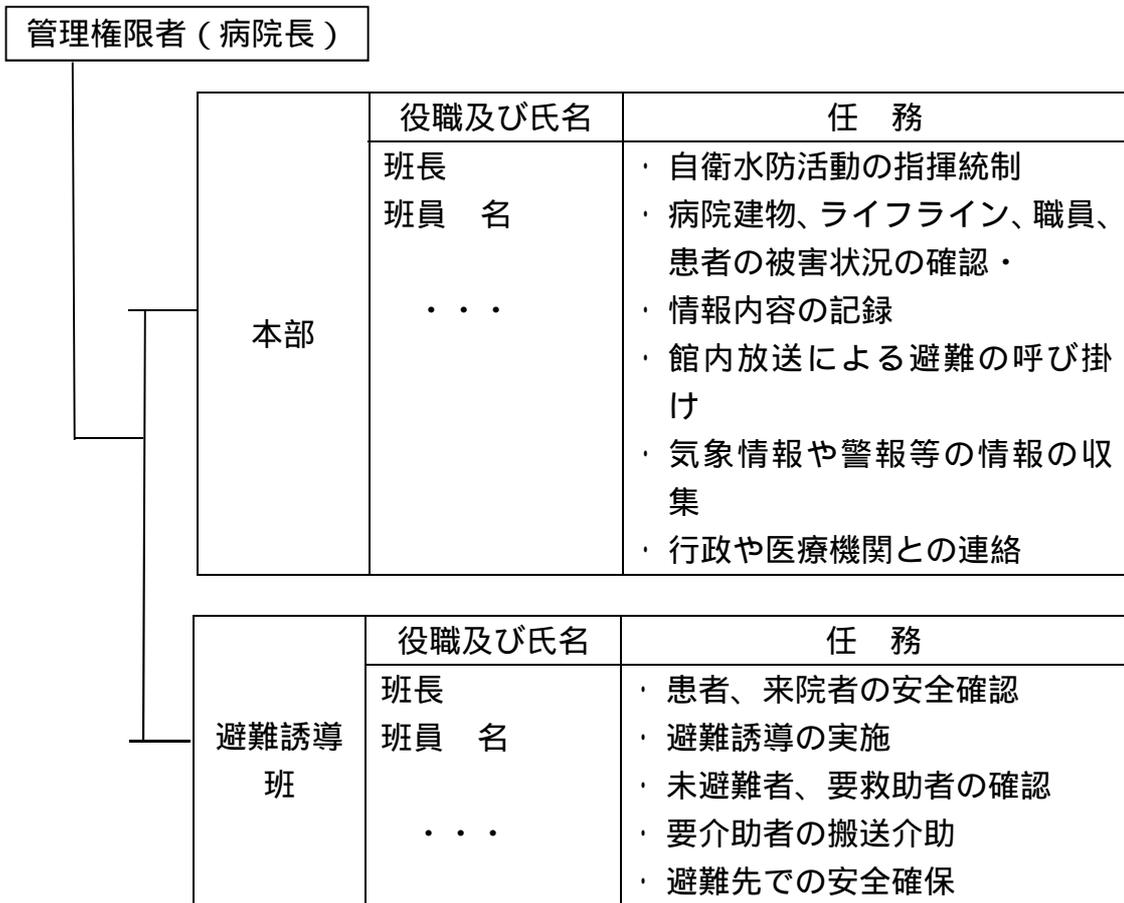
第5条 管理権限者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理を行わなければならない。

(1) 自衛水防組織の装備品は、下記「自衛水防組織装備品リスト」の通りとする。

(2) 自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

(自衛水防組織の活動)

第6条 自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。



「自衛水防組織装備品リスト」

任 務	装 備 品
総括・情報班	名簿（従業員、利用者等） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、携帯電話、衛星電話用アンテナ） 照明器具（懐中電灯、自家発電式懐中電灯、照明、発電機）
避難誘導班	名簿（従業員、利用者等） 誘導の標識（看板） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 懐中電灯 携帯用拡声器（手持ちスピーカー） 搬送具（2つ折り担架、キャンバスベッド） ライフジャケット 鳥大病院にはなし。

	水・食料 医薬品 寝具・防寒具（災害用毛布、ブランケット、寝袋） カルテのバックアップデータ（閲覧できる情報端末・電源含む）
--	---

ライフジャケットが鳥取大学附属病院には装備されていないが、洪水時などを考えると、大人用、子供用のライフジャケットは必須である。

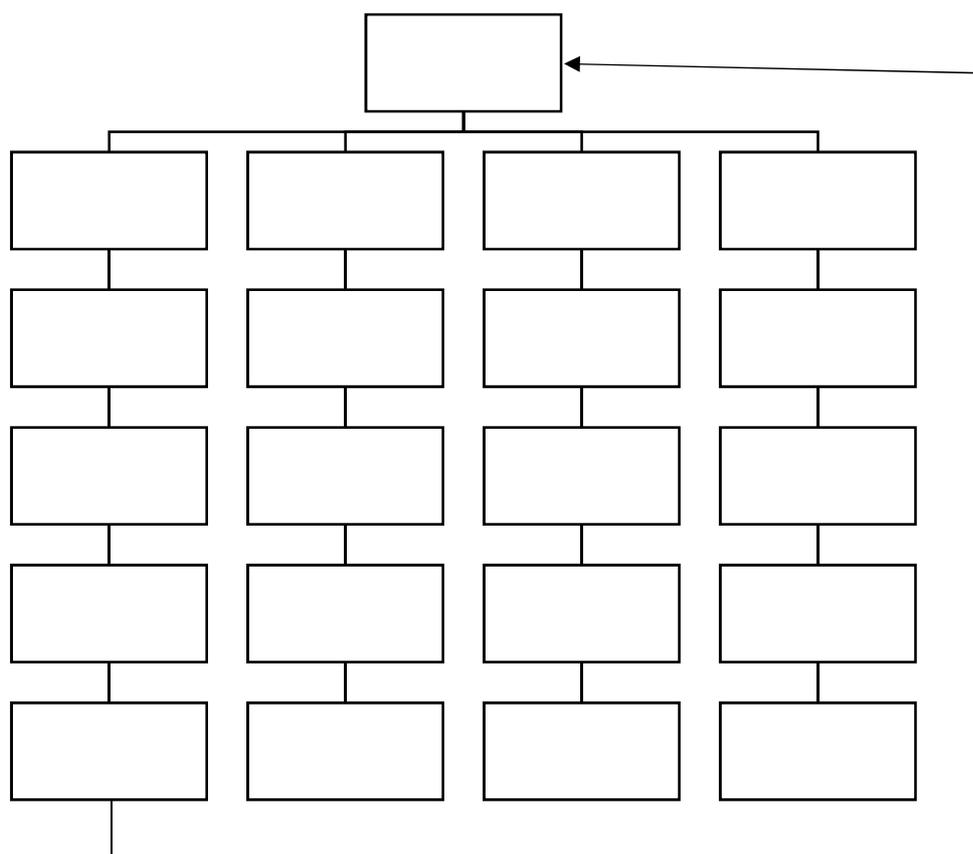
10. 防災教育及び訓練の年間計画作成

4月	・10日：新人職員防災研修
5月	・14日：水害・土砂災害防災訓練（講義）
7月	・9日：水害・土砂災害防災訓練（本番）
9月	・被ばく医療職員研修 ・28日：多数傷病者受け入れ訓練（講義）
10月	・19日：多数傷病者受け入れ訓練（エマルゴ） ・下旬：情報伝達訓練
11月	・（鳥取県原子力防災訓練） ・11日：多数傷病者受け入れ訓練（本番） ・24日：消防・避難訓練（地震・火災）（1回目）
2月	・消防・避難訓練（地震・火災）（2回目）

11. 施設利用者緊急連絡先一覧表

各部署で作成し、管理する。

12. 緊急連絡網



緊急連絡網は、各部署で作成する。

13 . 外部機関等への緊急連絡先一覧表

	機関・病院名	役職	連絡責任者	電話番号
市町村	米子市	健康対策課長		0859-23-5450
	境港市	子育て・健康 推進課長		0859-47-1213
消防署	西部消防局	指令課長		0859-35-1962
警察署	米子警察署	署長		0859-33-0110
	境港警察署	署長		0859-44-0110
医療救護対策支部	西部総合事務所福祉保健局			0859-31-9315
重点医療機関	米子医療センター	副院長	杉谷 篤	0859-33-7111
	山陰労災病院	院長	大野 耕策	0859-32-2049
	博愛病院	院長	檀田 豊	0859-29-1100
	高島病院	院長	浦辺 千晶	0859-32-7711
	新田外科胃腸科病院	院長	新田 一豊	0859-33-1100
	鳥取県済生会境港総合病院	院長	村脇 義和	0859-42-3161

14. 防災体制一覧表

管理権限者 病院長（代行者 防災センター長）		
救急医療班	担当者	役割
	班長： （救命救急センター長） 班員：救命救急センター 麻酔科 手術部 高次集中治療部	<input type="checkbox"/> 災害により搬入される患者の振り分け（トリアージ） <input type="checkbox"/> トリアージされた患者の応急処置 <input type="checkbox"/> 要請のあった地域での医療活動への人的支援
病棟医療班	担当者	役割
	班長：各病棟師長 班員：各病棟医師 各病棟看護師	<input type="checkbox"/> 入院患者の安全確保、必要に応じ避難誘導 <input type="checkbox"/> 入院患者の可能な限りの治療継続
外来医療班	担当者	役割
	班長：各外来医長 班員：各外来医師 各外来看護師	<input type="checkbox"/> 外来患者の安全確保、必要に応じ避難誘導 <input type="checkbox"/> 外来患者の可能な限りの治療継続
薬剤班	担当者	役割
	班長：島田 美樹 （薬剤部長） 班員：薬剤部	<input type="checkbox"/> 被害状況の調査・確認 <input type="checkbox"/> 薬剤の確保、配送 <input type="checkbox"/> その他薬剤・輸血業務
放射線管理班	担当者	役割
	班長：田邊 芳雄 （放射線部長） 班員：放射線部	<input type="checkbox"/> 被害状況の調査・確認 <input type="checkbox"/> 放射線業務 <input type="checkbox"/> 核医学業務

		<input type="checkbox"/> 放射線被害の調査・確認
--	--	--------------------------------------

	担当者	役割
検査・輸血班	班長： （検査部長） 班員：検査部 輸血部	<input type="checkbox"/> 被害状況の調査・確認 <input type="checkbox"/> 輸血製剤等の確保 <input type="checkbox"/> その他検査・輸血業務

	担当者	役割
検死班	班長：○○○○ （病理部長） 班員：病理部 法医学教室	<input type="checkbox"/> 遺体の検死・検案 <input type="checkbox"/> 遺体安置所の管理・運営

	担当者	役割
医療物資班	班長：○○○○ （材料部長） 班員：材料部	<input type="checkbox"/> 医療物資の確保と適正な配分

	担当者	役割
給食班	班長：○○○○ （副栄養管理部長） 班員：栄養管理部	<input type="checkbox"/> 被害状況の調査・確認 <input type="checkbox"/> 食材の確保 <input type="checkbox"/> 患者給食業務

	担当者	役割
入退院調整班	班長：○○○○ （医療福祉支援センター看護師長） 班員：入退院センター	<input type="checkbox"/> 災害により搬入される患者の入院調整 <input type="checkbox"/> 災害により搬入される患者受入のための転院調整

	担当者	役割
総務班	班長：総務課課長 班員：総務課総務係	<input type="checkbox"/> 各部署の業務に必要な要員の確保、相互間の援助要請 <input type="checkbox"/> 災害対策本部の事務の統括 <input type="checkbox"/> 情報収集に必要な手段の確保

	担当者	役割
渉外・ 広報班	班長：総務課副課長 (総務担当)	□被害状況の確認・把握、院内患者等への周知 □外部との定期的情報交換
	班員：総務課広報係	

	担当者	役割
職員対策班	班長：総務課副課長 (人事担当)	□本院職員およびその家族等の安否確認、被害状況の把握
	班員：総務課職員係	

	担当者	役割
避難誘導・ 安全管理班	班長：経営企画課長	□患者・来院者の安否確認および安全な避難誘導 □入院の必要な患者の搬送受入
	班員：看護部 経営企画課職員	

	担当者	役割
物資調達班	班長：経理調達課長	□救援物資の搬入および保管場所の確保 □救援物資の受入・管理
	班員：経理調達課	

	担当者	役割
物品被害 対策班	班長：○○○○ (MEセンター長)	□医療用機器等の被害調査・修理・調整 □医療に必要な物品・器材等の調達・管理
	班員：MEセンター 経理調達課	

	担当者	役割
施設班	班長：施設環境課長	□ライフラインの復旧と確保 □施設や設備等の被害状況報告 □施設や設備等の応急処置・修理依頼
	班員：施設環境課	

	担当者	役割
地域住民	班長：学務・研究課長	□避難住民の受入場所の確保、誘導

対策班	班員：学務・研究課	<input type="checkbox"/> 避難住民の人数や氏名等の把握 <input type="checkbox"/> 避難場所での生活支援
医事担当班	担当者	役割
	班長：医療サービス課長 班員：医療サービス課	<input type="checkbox"/> 災害により搬入される患者の受付 <input type="checkbox"/> 災害用カルテの作成
病歴班	担当者	役割
	班長：○○○○ （医療情報部長） 班員：医療情報部	<input type="checkbox"/> 災害医療カルテ等病歴の管理 <input type="checkbox"/> 医療情報用機器の被害調査・修理・調整
ボランティア対策班	担当者	役割
	班長：医療サービス課副課長 班員：医療サービス課	<input type="checkbox"/> 外部ボランティアの受付・登録・生活支援 <input type="checkbox"/> 外部への医療ボランティアの調整・支援